



122号  
2020年7月・8月



じんせい そうまとう ごと  
人生は 走馬灯の如し Life is a kaleidoscope



## ロックダウン 日記



世界的なパンデミック！人生が事実上停滞したようだ！以前人が決して経験したことがない計画なしの不自然な状態は私達を現実引き留めた。つまり私たちは自分の生活も自由に管理できなくなった。科学の発展のおかげで人間の超高速の生活様式は超音速で走っていたが急に止まって驚かせた。以前の1950年代や1960年代のシンプルでくつろげる牧歌的で幸せな生活を思い出していませんか。しかし、この非活動の真空状態の中で皆さんは何をどれくらい達成できましたか？

読者の皆さんはこの挑戦に対するユニークな回答を発見しました：身体も精神も生活も高めて強化できましたね！

### 先生がおっしゃった....



私がロックダウンで得られたこと。スマホが友達になったこと。

私は今までスマホではメールとか WhatsApp しか使ったことがありませんでした。時間が沢山できたので Google で中国のドキュメンタリフィルムを見たりコロナウイルスについて多くの人が解説をしているビデオを見ました。何百年に一度の強力なサイクロン AMPHAN がちょうどコルカタの上を通過している時、私はスマホで WEATHER の情報を見ていました。雨の量とか風の強さをずっとチェックしていて夜の9時ごろ停電になったがスマホの Torch light が使えたので心強かったです。YOUTUBE という職業があるのを知りました。いろんな楽しい料理番組を見るのが好きです。今はスマホで ON LINE クラスもできるようになりました。

<https://youtu.be/iP13digzI8>



### デビさんがおっしゃった....

2020年3月25日からコロナウイルスのせいで私達は皆家から出かけられなくなった。初めて21日間のロックダウンが発表されたとき、どのようにスケジュールに対処するかと心配していた。

しかし、驚くべきことに、私はロックダウン期間を全力で「すべて建設的に」非常に役立つ方法で費やした。コロナウイルスの強さと政府による警告「家にいて、安全に」を考慮して、すべてのサポートをしてくれる人からのサポートを停止した。メイド、運転手、新聞配達等。私は家族のために昼食や夕食、又朝食も自分で作っていた。以前料理は苦手だったが、今はお客さんが来るということもなかったし、外出して人と会うこともなかったので時間が十分あるので料理を楽しんだ。

ロックダウンの発表の直前 2020年3月19日二ガム先生の家で私は日本語能力試験の願書を記入した。試験の準備、漢字の練習、言葉の暗記などをし始めた。二回目のロックダウンの時 JLPT がキャンセルされたということを知った。3、4日間私はある程度落ち込んでいた

ロックダウン中の最も重要な成果は、私は娘ととても仲良くなったことだ。お互いに価値がある時間を過ごした。それは私の人生を通して星のようにきらめくだろう。

その他 You Tube や Hot Star で (昼食後) 多くの映画を見たり、バルコニーで園芸したり、小さいがとても便利なものを縫ったりした。

一つのことだけとてもしたかったこと、それは毎週一度母と会うこと。彼女は近くにいるが、八十代であるだけでなく非常に病弱です。

3 ページに続く....

Nihongo Kaiwa Kyokai Society, 2B, Shivangan, 53/1/2, Hazra Road, Kolkata- 700 019

E-mail: [write2nkks@gmail.com](mailto:write2nkks@gmail.com)

Visit us online: <http://www.nkks.org.in>

2 ページから続く....

現在、必要なすべての仕事（銀行、家の買い物など）をしたり、友達と会ったりするために出かけるのを熱心に待っている…。早くその時が来ますように！！

デビ ダス



## 招き猫 と色の ご利益

現在陶製の招き猫の生産は焼き物の街愛知県の常滑市が全国一。上げている手（足）は左右あって右手を上げているのは「お金」を招き左手は「お客」を招くといわれている。

色もさまざま白猫はスタンダードに開運招運を意味し黒は魔・厄除け、赤は病除け、ピンクは恋愛運、黄は金運、シルバーは長寿だそうです。



## 東京オリンピック

Covid-19 の発生により、世界はめちゃくちゃになってしまった。想像もできなかったことが起こった...

オリンピックの延期。再び日本が不屈の精神と冷静さと熱情を表す時が来た。歴史が証明するように、日本は戦争と自然災害の苦しみから何度も立ち上がった。マラソン大会に最初に参加した伝説的な「いだてん」（日本を代表する最初の人）のことを忘れることが出来るだろうか。

これは私たち全員が学ばなければならない教訓だ。後悔先に立たず、将来の目標を達成するために力を使ってください。必ず報酬があるだろう！

1964 年にアジアで最初の夏季オリンピックを開催した日本の最終的な勝利を描いた NHK の歴史的なテレビドラマ、「いだてん～東京への壮大なマラソン」をご覧ください。

想像を絶する現状を踏まえ、NKK の月例プログラムにつきましては、「桜」のホームページをご覧ください

## すずめのひょうたん



昔話

むかしむかしある山おくにととてもまずいおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんはたけかごをつくり、おばあさんは糸をつむいでくらししていました。

ある日、2 人がいつものように仕事をしていると、やっと空をとべるようになった小さなすずめがつばさにけがをしたようで、落ちてきました。大きな鳥につかれたのかもしれない、とかんがえたおじいさんとおばあさんは、すずめの手当をすることにしました。おじいさんとおばあさんは弱ったすずめに米つぶをあたえ、ねずにまいにちかんびょうしました。

まずい 2 人にとってだいじなおこめでしたが、弱っているときはこめつぶをたべるのが良いだろうとかんがえてあたえました。かんびょうのかいあって、すずめは日に日に元気になっていきました。

そんなある日、すずめの父と母がむかえにやってきたので、おじいさんとおばあさんはすずめをおくり出しました。自分の子どものようにせっけていたおじいさんとおばあさんは、すずめがいなくなってさびしくかんじていました。

それからしばらくたったある日、すずめの親子がおじいさんとおばあさんのところへあそびにきました。すずめがたねをおいていたので、2 人はさっそくそのたねをはたけへうえてみることにしました。するとそのばん、何やら音が聞こえるので外へ出てみると、のきたにつるしてあったひょうたんから音がしていました。おじいさんがひょうたんを手にとってみると、ひょうたんからこめつぶがたくさんふきだしてきました。

いくら食べてもひょうたんからおこめはでつづけ、おこめがなくなるということはありませんでした。おかげで 2 人は、前にもまして元気にはたらきつづけました。

- 終 -

## 幸田正則さんとのインタビュー



幸田正則さんは2019年2月からコルカタのジャダプル大学、そして2019年7月からゴールパーク ラマクリシュナミッションでベンガル語を学ばれている。私は彼に初めて会ったのはNKKのピクニックの時だった。彼はとても静かな人だ。

彼とお話をした。彼はコルカタの人々の親切な振る舞いがとても印象できだと言った。奈良県の出身だそうだ。現在27歳。

インタビューの抜粋：

Q:インドにいらっしゃった目的は？

A:私はベンガル語を習うのにコルカタに来ました。ジャダプル大学とゴールパーク RKM で勉強中。

Q:いつ始めて来られたのでしょうか。

A:コルカタに初めて来たのは2014年の5月末です。当時は、大学生で東南アジアのブルネイで英語留学していました。5月で留学が終わり、日本に帰る前にコルカタに来ました。

Q:なぜベンガル語の勉強するのを決められたのでしょうか。

A:私の職場では色々な言葉で海外の方の手助けをしています。英語やスペイン語など堪能な人材が揃っており、日本語教師も所属しています。叔父が20数年前にベンガル語を勉強していたこと、今までベンガル語を勉強した人がいなかったことがベンガル語を学ぼうとしたきっかけです。

Q:インドやコルカタについて印象は？

A:インドはとても大きく、人が多いのが私の印象です。1月にブッダガヤとバラナシに行きましたが、宗教が生活に根差しているところなど日本では味わえない魅力がたくさんあると思います。

コルカタは見知らぬ人でも優しく接してくれる印象が強いです。バスやオートリキシャを使う時は周りの人が助けてくれるので、安心して利用できます。

Q:インドの文化についてどう考えられますか。

A:インドの文化は日本と違う点が多いので、戸惑うことが多かったです。日本では仏教や神道が昔からありますが、仏様や神様にお願いした

り、感謝を示すお祭りはインドに比べると多くはありません。いろいろな宗教に関係した祝日も多く、生活にもこれが根付いていることがインドらしさだと思います。

Q:幸田さんの趣味は？

A:私の趣味はスポーツを見ることです。好きなスポーツは野球、サッカー、ラグビー、卓球など色々なスポーツが好きです。

スポーツをする機会は今は少ないですが、クリケットはやってみたいです。

Q:いろいろな国の旅行の経験は？

A:大学生の時に留学したブルネイが初めて行った海外の国です。私はブルネイとインドしか海外では行ったことはありません。

ブルネイはイスラム教の王国で、とても小さい国でした。とても親日の国で友人はとても優しく接してくれました。観光する場所としては大きなモスクが有名です。

Q:日本語を学ぶ学生たちに提案は？

A:私の職場では日本語学校も運営しております。インドに来る前は日本語を学ぶ留学生寮で働いていました。寮では色々な国から集まった留学生が共同生活しています。しかし、寮の規則は日本のルールなので外国人からすればとても厳しく感じるそうです。常に自分勝手な行動を避けて、他人を考えながら生活することが求められます。私は日本人として他者を優先する日本の文化がとても素晴らしいと誇りに思っています。日本語を勉強する中で、日本人の考え方も知ってもらえたらうれしいです。

Q:思い出深い経験がありますか。

A:コルカタでの生活は1年を過ぎました。最初の頃はベンガル語を話すことができず、バスやオートリキシャ、サイクルリキシャなどの公共交通機関を使うこともできませんでした。しかし、段々と話すことができるようになって知らない場所にも行くことができるようになり、バスのコンダクターや他の乗客と少しの会話も楽しく感じるようになりました。

Q:最近世界中の人々はコロナウィルスの流行病を戦っています。

A:今はコロナウィルスの影響で普段の生活ができていませんが、皆さま予防対策をしてお気を付けてください。また、日本語をベンガル語を交えてお話できることを楽しみにしています。

アローク バス

日本語クロスワード  
(7月 - 8月)

1	2	3	4		
5					6
		7		8	
9	10		11		
	12	13		14	
15					

ACROSS

- 1) Obedient
- 5) Way of borrowing
- 7) Square
- 9) To go
- 11) Pond
- 12) Moon
- 14) To bloom
- 15) Epidemic

DOWN

- 1) Funny
- 2) Bird
- 3) Friend
- 4) Close/Intimate
- 6) Table
- 8) God
- 10) Shoe store
- 13) Mist

モハシユウエータ バス ムカルジー

(5月 - 6月)

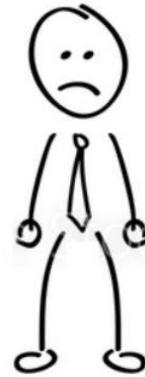
日本語のクロスワードの答え

1 せ	2 い	3 じ	が	4 く	
5 か	し	ま		6 さ	び
い		7 く	8 う	き	
9 し	10 し		11 え		12 な
	13 ま	る	き	14 は	し
15 こ	い		16 や	ね	

綴り換え - 66

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょ

このことわざはなんですか？



Winner

Loser

1. みずあま (Rain water)

	○		
--	---	--	--

2. がたあけ (Dawn)

	○		
--	---	--	--

3. まいあい (Vague, ambiguous)

	○		
--	---	--	--

4. だすめき (Pick out, draw out)

○			
---	--	--	--

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え - 65

- 1. かがくしゃ
- 2. ちょうしょ
- 3. ふうとう
- 4. げんかん
- 5. はつおん

か	ち	よ	う	ふ	う	げ	つ
---	---	---	---	---	---	---	---

(Beauties of Nature)

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタル

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター